

ふ・れあ・い

Human ♥ Communication

2015
4月・春号

Vol.20

人と心に響き合う

清恵会グループ広報誌

FREE

ご自由にお持ちください



特集

あなたの骨は大丈夫？

骨粗しょう症

健康と美容のワンポイント!アドバイス
「一緒に歩く歩行の介助」

社会医療法人 清恵会

整形外科から見た骨粗しょう症

骨粗しょう症は、「骨強度の低下を特徴とし、骨折のリスクが増大しやすくなる骨格疾患」(2000年米国国立衛生研究所で開催されたコンセンサス会議)と定義されています。従って、骨折や腰部痛がなくても、骨脆弱化があれば骨粗しょう症と診断されます。わが国における骨粗しょう症患者は推計で1,280万人、さらに年間骨粗しょう症発生数は97万人といわれています。この骨粗しょう症によって高齢者に骨折が生じると、日常生活動作を下げ、生活の質をも低下させ、さらには要介護状態や寝たきりになる可能性を高めます。

骨粗しょう症については「老化だからしょうがない」という考え方が今だに流布していて、検診などで骨粗しょう症や骨量低下を指摘さ

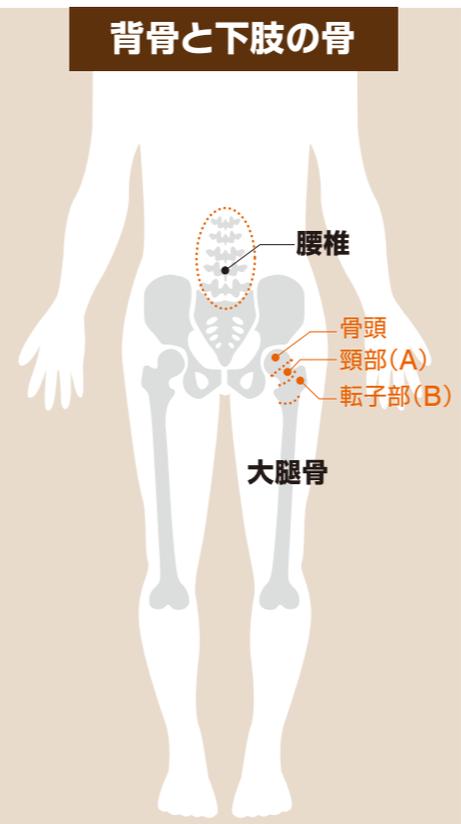
れても、「自覚症状がないから二次検診や医療機関受診の必要性を感じない」「そもそも老化なのだからこの年齢なら当たり前」といった考え方が見受けられます。骨粗しょう症は「沈黙の疾患」といわれており、骨強度が低下して骨折の危険性が高まっても、骨折をしていなければ症状はみられません。それ故、骨粗しょう症検診は全国各地域で実施されているにも関わらず、その受診率は極めて低いのが現状です。整形外科から見ると、骨粗しょう症は骨折を引き起こす疾患であるだけでなく、それに伴って要介護高齢者の増加を引き起こし、脳卒中、認知症に並ぶ要介護の原因の一つとして、ますます大きな社会問題になることが予想されます。そのため積極的に骨粗しょう症の検査を行い、治療を早

期から開始し、できるだけ骨折する患者が減少するようにしなければなりません。

今回は、この骨粗しょう症に伴って起こる骨折のうちでも、日常生活に大きな影響を及ぼす背骨の骨折(椎体骨折)と下肢の骨折(大腿骨近位部骨折)について述べたいと思います。

① 椎体骨折

椎体骨折は、発症後に強い背部痛を主訴として受診する症例と、疼痛がごく軽微で、患者さん本人も骨折発症を自覚することなく経過する場合があります。一度骨折を起こすと、また別の椎体に骨折を起こす危険性が高まります。椎体骨折を起こした人が再び次の椎体骨折を起こすと、「10kg以上の重いものを持ち上げられない」「1時間以上硬い椅子に座ってられない」「高い棚の本に手が届かない」といった日常生活が不自由になる危険性が2.5～3.5倍高くなる



(写真1) 椎体の骨折後、骨の治癒が不完全な状態に対して金属で固定(後方固定術)

骨折している椎体



(写真2)
左上：大腿骨頸部(A)の骨折を金属で固定(骨接合術)
右上：大腿骨頸部(A)の骨折を骨頭部分から金属製の人工骨頭に入れ換え(人工骨頭置換術)
左下・右下：大腿骨転子部(B)の骨折を金属で固定(骨接合術)

③ 椎体骨折と大腿骨近位部骨折の関連

椎体骨折が存在する場合、新規に椎体骨折や大腿骨近位部骨折が生じる相対リスクは約3～5倍に高まることが報告されています。また別の報告では、大腿骨近位部骨折患者の81・8%に脊椎椎体骨折の既往があり、これらのほとんどの症例(96・0%)で骨粗しょう症について未治療だったと報告されています。すなわち、わが国における骨粗しょう症の治療率はきわめて低く、椎体骨折例で4%、大腿骨近位部骨折でも4～8%にすぎません。

まとめ

骨粗しょう症の患者数は全国で1,280万人。そのうち治療を受けているのは約200万人であり、骨粗しょう症の治療率は極めて低いのが現状です。



清恵会三国丘クリニック
院長
坂中 秀樹
大阪市立大学医学部卒業。清恵会病院副院長を兼務。日本整形外科学会専門医、日本脊椎外科学会認定、日本脊椎外科学会指導医、日本整形外科学会評議員、日本骨折治療学会評議員、中部日本整形外科学会評議員。

※1…圧潰(あつかい)圧力がかけられて潰れること。
※2…骨癒合不全(こつゆごうふぜん)骨折や骨の手術の後、骨の治癒が不完全な状態で止まってしまうこと。「偽関節(ぎかんせつ)」ともいう。

といわれています。症例によっては、骨の圧潰^{※1}が進んで神経障害が発生したり、骨癒合不全(偽関節)^{※2}が生じたりすると、手術が必要となることもあります(写真1)。

② 大腿骨近位部骨折

足の付け根が折れる骨折で、骨折すればほとんどの症例で手術を必要とします。手術方法は骨折の型により種々の方法があります(写真2)が、どれも約2～3週間以上の入院を要します。その後リハビリなど、さらなる入院が必要となることもあり、日常生活動作が著しく低下する症例が多くなります。国内で治療された大腿骨近位部骨折10,992例を対象とした大規模調査によれば、日常生活動作が自立していた症例は骨折前87%であったが、骨折後1年には50%に低下していたと報告されています。

骨粗しょう症と食事

● バランスの良い食生活が基本

骨粗しょう症の予防の基本は、バランスの良い食事を心がけることです。中でも骨の材料となるカルシウムは欠かせません。日本人のすべての世代でカルシウムが不足しています。

吸収率の高い牛乳・乳製品以外にも、今より100～200mg多めにカルシウムをとるようにしましょう。

カルシウムを多く含む食品

- 乳製品** 牛乳、チーズ、ヨーグルト 等
- 大豆製品** 豆腐、あげ、高野豆腐 等
- 小魚・海藻類** ひじき、いわし、干えび 等
- 野菜** 小松菜、チンゲンサイ、切干大根 等



● カルシウムを効率よくとる

カルシウムは体内に吸収されにくいので、吸収を助ける栄養素や、吸収を妨げる栄養素を知っておきましょう。

○ 吸収を助ける栄養素

- ビタミンD** 魚介類(まぐろ、かつお)、干しいたけ、ひじき 等
- ビタミンK** 納豆、ほうれん草、小松菜、にら、キャベツ 等



× 吸収を妨げる栄養素

- リン** インスタント食品、スナック菓子、炭酸飲料 等
- 食塩** 漬物、加工品 等



● “骨質”を良くする

骨質を支えるコラーゲンの劣化を防いで、骨を丈夫に保ちましょう。

コラーゲンの劣化を防ぐ栄養素

- ビタミンB16** レバー、まぐろ、にんにく、ごま 等
- ビタミンB12** さんま、貝類、レバー 等
- 葉酸** のり、緑茶、枝豆、モロヘイヤ 等



● ビタミンDは食事以外からもとれる

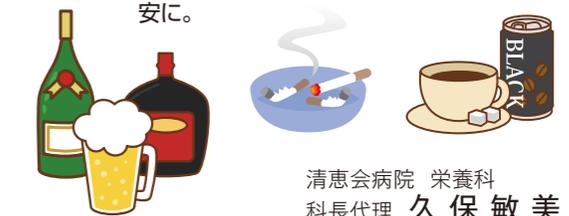
人間の皮下脂肪には、日光(紫外線)を浴びることによってビタミンDに変わる物質が含まれています。1日に、夏なら木陰で30分程度、冬なら手や顔に1時間程度の日光浴をしましょう。

窓ガラスは紫外線をあまり通さないため、窓越しの日光浴でのビタミンDの吸収は期待できません。



● 骨折のリスクを高める嗜好品

- 喫煙** 骨粗しょう症の危険因子の一つです。
- カフェイン** とりすぎると骨のカルシウムを失う可能性があります。コーヒーは1日2杯程度までに。
- 飲酒** 適量は大丈夫ですが、日本酒なら2合(360ml)、ビールなら350ml×3缶を目安に。



清恵会病院 栄養科
科長代理 久保敏美

医心伝心

医の最前線から
第二十回



田中 錦三

清恵会第二医療専門学院
理学療法士科 教務部長

1981年、清恵会第二医療専門学院 理学療法士科を卒業。同年、医療法人清恵会 近江温泉病院に勤務。
1983年、清恵会病院 第二分院に勤務。
1993年、清恵会第二医療専門学院に勤務。
2000年、介護支援専門員認定取得。
2006年、日本関節運動学的アプローチ医学会 PT・OT会認定療法士取得。同年、日本関節運動学的アプローチ医学会PT・OT会監事。
2010年、和歌山県立医科大学大学院 医学研究科医科学専攻 修士課程修了。同年、公益社団法人日本理学療法士協会 代議員。
2013年、公益社団法人大阪府理学療法士会 理事。

教育者として、医療人として、常に患者様の側に

理学療法士を養成する

理学療法士(PT: physical therapist)は、リハビリテーション医療における専門職の一つです。物理療法、運動療法、日常生活活動指導などの治療手段を用いて、障害を持つ方々の痛みや運動機能、呼吸機能、循環機能などの改善を図ります。当学院は、理学療法士を養成する3年制の専門学校です。リハビリテーションという用語がまだ日本では知られていない時代に、先代理事長が「これからの医療にリハビリは欠かせない」と、救急からリハビリテーションまでの一環した医療を提唱し、当学院を設立されました。

教育と臨床との両立

公益社団法人大阪府理学療法士会理事という立場もあり、現在、

学校保健健診における運動器検査の普及に努めています。小・中学校での保健健診は内科や歯科が一般的であり、骨、関節、筋肉を検診する運動器検査はほとんど行われていません。しかし、近年は低活動な子どもや、逆に過度なスポーツ等による運動器疾患・障害を抱える子どもが多くみられます。そこで、骨、関節、筋肉、靭帯、神経などに異常がないかの検査を理学療法士が行い、医師と連携するシステムを構築したいと考え、大阪府下の行政、教育委員会、小・中学校に働きかけています。

教育者として、医療人として、私が大切にしていることは、患者様の側に立った視点を持つこと。患者様の訴えや要望を正確に受けとめ、いかに早く改善の方向に導けるかを考えられること。そのような臨床能力を学生たちに身に付けてもらうこと。学会や研修

会、各就職先などで活躍している卒業生を見ると、教員冥利に尽きます。私も臨床家であり続けるため臨床との接点を持ち続けています。

プライベートでは、冬はスキー、春から秋はサーフィンを楽しんでいます。普段はもっぱら、そのためのトレーニングをしています。妻には年甲斐もなくと呆れられています。



教室での授業風景

クローズアップ!

清恵会の仕事見せます



清恵会病院
放射線科助手 浦 翔太
昼間は放射線科助手として働き、
夜間は当法人の診療放射線技師養成校で勉強中。

◀パソコンで、ディスクに書き込み保存する画像を呼び出しています。

vol.7 放射線科助手

病院のスタッフとして働く「放射線科助手」。放射線科では右記のような仕事をしています。「ディスクへ撮影画像を保存」とはどのようなことなのか。「フィルムレス環境」と合わせてご紹介します。

1 レントゲンフィルムは、もういらない?

電子カルテの導入に合わせて放射線科では、従来のフィルムでの画像出力をしないフィルムレス環境にしました。撮影した放射線診断画像は、放射線科専用の画像サーバーに保管され、医師は高精細モニターで診断、確認をします。また、すべての画像は、診察室や各病棟に設置されている電子カルテモニターでいつでも見ることができます。

高精細モニター▶

放射線診断画像は、X線一般撮影画像、CT撮影画像、MRI撮影画像、X線透視撮影画像など



2 患者様の負担も減りました

フィルムレスの利点は、なんととっても大きなフィルムに出力しないわけですから、検査効率とコストの両面において大きく改善されました。

また、患者様を他の医療機関へ紹介する際には、その患者様の画像データを小さなCD-RやDVD-Rのディスクメディアで提供します。患者様が負担する費用も縮減され、大きくて重いレントゲンフィルム袋を持ち運ぶ必要もありません。

以前は、当院はフィルムレス環境でも、他の医療機関や地域の連携施設の利便性を考えるとフィルムで出力するしかなく、年間数千枚のフィルムを使い続けざるをえませんでした。現在はディスクメディアで情報提供する利便性が理解されつつあり、フィルムからディスクへの切り替えも順調に進んでいます。

今後は、どの医療機関でもデジタル化が進み、医師がレントゲンフィルムを手にしながらか診察することも少なくなると思われます。当院では、そのような環境変化に遅れることなく、デジタル化した画像データを提供していきたいと考えています。



◀これがディスクに書き込む機械です(カバー開き状態)。画像を書き込み保存した後、続いてラベル印刷もされて出てきます。



◀従来のフィルムはこの袋の大きさです。枚数が多いと重くて大変です。(患者様によって1~20枚)それが、この小さくて軽いディスク1枚に!

CD-Rは15g

例えば最大サイズのフィルムなら10枚で420g
なによりかばんに入らない



ナース・フェイス Nurse Face

私の看護、私の思い

看護師と臨床工学技士、2つの視点で

清恵会三宝病院の人工透析室に所属しています。

透析療法は血液を体外循環し、浄化する治療法です。1回の治療に要する時間は4時間強ですが、血液の浄化は機械が行いますので、私たちはその間、患者様とコミュニケーションを取りながら血圧測定や顔色の確認、体調に異変がないかを見守ります。機械を使用しますので、そのエキスパートである臨床工学技士と力を合わせて治療を行います。透析室にはたくさんの医療機器が並び、一見、物々しく感じるかもしれませんが、雰囲気は明るいですよ。



義久 靖宏

清恵会三宝病院 人工透析センター
看護師

看護師になろうと思ったきっかけは、多くの看護師がそうであるように私も「人を助けたい」という気持ちからです。そんな思いもあり、大学病院で臓器移植や再生医療の分野での経験をを経て、現在透析医療に携わっています。看護師は、多くのことができる職種だと思っています。この清恵会グループは、急性期医療から慢性期医療まで幅広く対応している医療機関ですから、これからもさまざまな分野に挑戦して、患者様の役に立ちたい、患者様を助けたい、と考えています。

また、私は看護師であると同時に臨床工学技士でもあります。患者様に看護師と臨床工学技士との両方の側面から話ができて、異なる2つの視点で患者様を看(み)ることにより、患者様をより深く理解し、より良い診療につなげることができると思っています。自分の行った看護に対して患者様から感謝の言葉を頂戴したときの喜びは何物にも代えられません。心と心が通じ合えたとき、看護師で良かったなと思います。

地域医療ネットワーク

清恵会病院と共に地域の医療を支え合う
医院・クリニックをご紹介します。



なんでも気軽に相談できるホームドクターに あけど小児科

堺市北区金岡町3025-12
☎072-242-7801

- 診療科目／小児科、アレルギー科
- 診療時間／9:30～12:30、14:00～17:00(完全予約制)、
月・水・土曜 18:00～20:00、火曜は午前のみ
- 休診日／木曜、日曜、祝日
- 開院年／2011年
- ホームページ／<http://akedo-kids.com/>



また、思春期になると内服や吸入は患者様自身で行う場合が多く、親が管理していたときに比べて治療の継続が難しくなることもあります。当院では、患者様およびご家族とのコミュニケーション

平成23年より小児科専門のクリニックとして開業しました。小児一般診療はもちろんのこと、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息などのアレルギー疾患の治療に力を入れて取り組んでいます。

私の二人の子どもは、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎でした（現在は食事制限なく、肌もきれいです）。離乳食から食事制限解除まで、食事はほとんど手作りでしたが、代替品を工夫して豊富なメニューを作りました。このような経験から、制限食メニューや制限を解除する場合でもどのレベルから取り入れたら良いかなど、お母さん方にきめ細やかなアドバイスができます。アトピー性皮膚炎についても、人それぞれ程度が異なりますので、一人ひとりに合った薬の使用法やスキンケアなどのアドバイスをしています。気管支喘息については、アレルギーの血液検査、呼吸機能検査を行い、客観的評価も実施しています。

母親の視点に立った診療



▲温かな雰囲気のを待合室・キッズスペース

清恵会病院の小児科は、私の同門である大阪医大の先生方がおられることもあって、大変心強い存在です。その迅速で確かな対応力は、病状が急変した場合でも自信を持ってご紹介することができます。また、外科の先生方に患者様を受け入れていただく際にも、小児科同様、速やかに対応していただき、患者様から感謝の声が届いています。今後ますます病診連携を深めていきたいと考えます。

清恵会とのかかわり

シヨンを大切に、個々の生活スタイルを聞き、内服や吸入が断続的にならないようアドバイスと治療を心がけています。

皆様が心安らかに日々過ごせる医療を 西沢整形外科クリニック

堺市東区日置荘西町1-15-23
☎072-288-2001

- 診療科目／整形外科、リハビリテーション、介護
- 診療時間／9:00～12:00、16:30～19:00(土曜は午前のみ)
- 休診日／木曜、日曜、祝日
- 開院年／1994年
- ホームページ／<http://www.nishizawaclinic.com/>



患者さんに最良の選択肢を

医学は日進月歩です。開業医の重要な役割の一つに、患者さんのいわば交通整理があると考えます。より高度な医療を要する方には、最適な医師を紹介することも私の責務です。そのため、毎週のように開かれる研究会への出席は欠かせ

患者さんに最良の選択肢を

平成6年、整形外科専門のクリニックとして、初芝駅前が開業しました。

腰痛、神経痛、関節痛などの慢性疾患から骨折、スポーツ障害など、幅広い疾患の治療にあたっています。介護保険事業や小・中学校の側彎症（そくわんしょう）検査も行っています。

骨折・捻挫、腰痛・肩こり、関節リウマチや変形性関節症、骨粗しょう症、原因の分からない痛み・しびれなど。整形外科で扱う疾患は非常に多岐にわたります。これらの症状を治すことはもとより、正常な運動機能を取り戻すことが大切です。当院では、幅広い治療を実践するとともに機能の回復を目指すリハビリテーションやリハビリ型デイサービスを行っています。また、介護が必要な患者さんには、当院が責任を持つてお手伝いいたします。

整形外科の幅広い疾患を治療



▲院長の西澤 徹先生とスタッフを代表してお二人の方



▲2階のリハビリテーション室

清恵会病院には、技量・人格ともに備わった医師が多数おられ、安心して患者様を紹介することができます。緊急を要するときも快く引き受けてくださり、いつも感謝しています。私が医務委員長を務める堺ラグビースクールの年1回の健康診断もお願ひしています。また、清恵会病院からの逆紹介も多く、病診連携がとてもうまくいっている例と自負しています。

清恵会病院とのかかわり

ませんし、基幹病院の医師との交流も不可欠です。



放射線技師科 1部2年 小西夏海

学生



放射線技師に魅力を感じました

中学生の頃から、医療系の仕事に就きたいと思っていました。看護師である母とたくさん話し合い、看護学校や臨床検査技師科の学校のオープンキャンパスなどに参加しました。そして、最も魅力を感じた放射線技師になろうと思い、最終的に清恵会第二医療専門学院を選びました。

高校では生物学を専攻していたので、解剖、生理、病理、心理学などの基礎医学の授業は興味ある分野でしたが、物理学や電気工学などの勉強は初めてで、1年生のときはみんなについていくのに必死でした。2年生からは、より専門的な勉強になり、核医学や放射線治療学、MRI検査やCT検査などを学ぶようになりました。自分が目指す放射線技師というのは「こういう仕事なんだ」と責任感を感じながらも楽しく勉強しています。

クラスメートとは、とても仲良しです。男女の仲も良く、みんなで食事に行ったり、公園へ遊びに行ったり、おつかれ会をしたりしています。

学生たちの未来 先生たちの今

清恵会グループには、二つの医療専門学院があります。夢と希望と決意を胸に、明日の医療界を目指して毎日頑張っている学生たちがたくさんいます。その学生たちをサポートする先生たちもまた、情熱と愛情と使命感に溢れています。そんな学生と先生の学院生活を紹介します。

生きることの素晴らしさを学んでほしい



放射線技師科 教務部長 安藤啓治

臨床現場で約9年間の勤務。日々の業務に追われながらも、進歩の早い放射線診断領域での知識レベル向上の必要性を痛感していました。そんな折り、母校での教員募集を知り、教育現場という勉強に対して逃げ場のない環境に身を投じることを決意し、入職しました。

現場と直結している学校であることから、医療人としての素養を身に付けさせることを常に意識しながら学生たちと接しています。これは教員一人ではできないものではなく、教務一丸となり、また、実習先の先生方とも意思の疎通を図りながら取り組んでいます。

人の死にも直面していかなければならない職業だからこそ、学生たちには、生きることの素晴らしさを学んでほしい。そして、生きていくことの素晴らしさに日々感謝してほしい。だから私のモットーは、「人は生きるために生まれてきた」「感謝」です。

また卒業の時期がやってきました。たった一人でもいいのです。「先生、ありがとうございました」という卒業生からの言葉……。この一言が、教員としての新たな一年のエネルギーになります。

高次脳機能障害に対する 更衣動作(着替え)練習

リハビリテーション部 作業療法科 係長 畑中匡

高次脳機能障害という言葉聞き慣れない方は多いと思います。交通事故や脳卒中などで脳が損傷すると、記憶能力の障害、集中力や考える力の障害、行動の異常、言葉の障害などが生じることがあります。これらの障害を「高次脳機能障害」といいます。代表的な症状としては、注意を左右均等に向けることができなくなり、見落としが極端に増えることがあります。例えば、食事のとき半分だけ手をつけていない、めがねの片方がちゃんと耳にかかっていない、といった行動が見られます。

日常生活の中では「更衣(着替)



え)も影響がよく見られます。ただでさえ「更衣」は、自分の体と衣服の形状を合わせる、ボタンとボタン穴の位置を確認して掛けるなど、形状の確認をたくさん行います。皆さんもほんやりしているときに着替えをすると、袖に頭を通してしまいそうになったり、裏表が逆になったりという経験があまりでしょう。

作業療法では、高次脳機能障害で「更衣」が難しくなっている患者様に対してアプローチすることがたくさんあります。まず患者様が何に困っているのか、何が分かりにくくなっているのか、どのよう



に考えているのかを確認していきます。そして、その患者様が分かりやすく動作できる方法を模索しながら、一緒に練習を行います。一例としては、服の形状が分かりにくい方には、袖の色を変えるなどで形状を判断しやすいよう工夫して練習します。

このように、作業療法では脳卒中後遺症による運動麻痺や感覚障害がある方だけでなく、高次脳機能障害を合併した方に対しても専門的な知識・技術を使って機能の回復を目指し、できる限り困ることなく日常生活を送れるようサポートしています。





昨年11月15日(土)、堺市産業振興センターにて、第2回清恵会病院市民公開講座を開催しました。「骨粗しょう症」をテーマに、清恵会病院院長の北岡治子医師と、清恵会三國丘クリニック院長の坂中秀樹医師が講演しました。その後は健康チエックや各種「相談」などの「健康フェア」を行いました。78名の方に「ご来場いただき、盛況のうち」に終わることができました。

2月7日(土)は、堺市総合福祉会館で第3回の講座を開催しました。「認知症」をテーマに、大阪医科大学内科学I 神経内科講師の中嶋秀人先生と、阪南病院院長の黒田健治先生に講演していただきました。若年層から高齢層まで83名の方に「ご来場いただきました」。

各回とも、講演後の質疑応答では会場から質問が多く集まり、関心の高さがうかがえました。

Topics

市民公開講座を開催しました



BLS(一次救命処置)講習会についてのご要望は…

お気軽にお問い合わせください。

清恵会病院地域連携室
☎072-251-8199(代)



清恵会病院のACLS委員会では、一般市民の方へ、救命に対する知識向上を目的に、一次救命処置講習会を開いています。先日、半導体などに使われる高純度薬品を製造・販売される会社様からご要望をいただき、2月4日(水)と18日(水)に、同社の工場で講習会を行いました。社員約30名の方々に「ご参加いただきました」。

副院長 中室誠医師※と、救急外科部長代理 石川和男医師が講師を務め、看護部スタッフが協力して、胸骨圧迫(心臓マッサージ)やAEDを使った一次救命処置の方法を、人形を使って実技指導し、練習していただきました。また、同社から「ご希望のあった「転落事故」と「高エネルギー外傷の初期対応」についての講義も行いました。

※日本救急医学会認定ICLSコースディレクター、ACLS大阪認定インストラクター

Topics

企業の社員の方へ
一次救命処置講習会を行いました

介護をしているご家族の方で、「歩行に付き添いたいけど、支え方がわからないから怖い」や「私が付き添ったら『歩きにくい』といわれる」という経験はありませんか? 見過ごされがちですが、歩行の介助にもコツがあります。

よくある失敗例



ポイント



「転倒したら危ないから」と、抱きかかえるように介助しがちですが、これでは介助される人が歩きにくいことはもちろん、介助者も疲れてしまって長く歩くことができません。

どうすればいいのでしょうか? 実は意外と簡単に介助する方法があります。

- ① 歩幅を合わせる
- ② 同じ側の足を出す

相手と同じ歩幅で歩けばスピードが合い、同じ側の足を出せば重心移動が同じになり、歩きやすくなります。

介助者の位置・支え方

障がいの程度によって異なりますが、介助者は原則として、**転倒しやすい側に位置するのが良いでしょう。**例えば左脚に障がいがあり、左側に転倒する危険性が高い場合は、介助者は左側に位置します。

支え方は、障がい軽度の人であれば、**写真1**のように軽く腕を把持する程度で十分です。障がい重度でしっかりと支える必要のある人は、**写真2**のように「**腕相撲**」の組み方で支えると力が入りやすく、支えやすくなります。



私たちリハビリテーションのセラピストにとって、「その人に合った介助方法」をお伝えすることも重要な役割の一つです。困っていることがあれば、気軽にご相談ください。

健康と美容のワンポイント! アドバイス

~その8~ 「一緒に歩く歩行の介助」

清恵会三宝病院 介護事業部
理学療法士

川崎真悟



清恵会グループのご紹介

清恵会病院

急性期機能病院

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁2番10号

清恵会向陵クリニック

人工透析外来

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁2番11号

清恵会三国丘クリニック

専門外来【予約制】

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁4番10号

清恵会本部

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号

いずれも ☎ 072-251-8199(代)

清恵会訪問看護ステーション

訪問看護・訪問リハビリテーション

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号

☎ 072-257-6074

清恵会医療専門学院

看護師・准看護師養成校

〒591-8031 堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番地

☎ 072-259-3901

清恵会第二医療専門学院

理学療法士・診療放射線技師養成校

〒590-0026 堺市堺区向陵西町4丁5番9号

☎ 072-222-6226

清恵会三宝病院

複合型慢性期機能病院

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番地の1

☎ 072-226-8131(代)

さんさんデイケア三宝

通所リハビリテーション

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番地の1

きらきら訪問リハ三宝

訪問リハビリテーション

清恵会三宝病院 介護事業部

☎ 072-225-0066

ケアプラス(照恵商事株式会社)

居宅介護支援・訪問介護・福祉用具貸与

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁6番25号 神田ビル2階

☎ 072-259-4622

清恵会グループの
WEBサイトもご覧ください



<http://www.seikeikai.or.jp/>

清恵会 検索



2015年10月1日

清恵会病院・清恵会三国丘クリニックは
診療機能を統合し、市立堺病院跡地へ移転いたします。



現行の診療機能はそのまま移行いたします。

新住所：堺市堺区南安井町1丁1番1号（市立堺病院跡地）
アクセス：南海高野線堺東駅 徒歩18分、南海バス 市立堺病院前

三国ヶ丘駅・堺東駅・新病院の無料巡回バスを運行します

移転に関する情報は、Webサイトなどで随時ご案内いたします。
お問い合わせは、清恵会病院 地域連携室へ TEL 072-251-8199(代)